

しゃきよう

Vol. 163

しゃきよう

社協は社会福祉協議会の略称です。みなさん「しゃきよう」と呼んでください。社協はだれもが安心して暮らせるまちづくりをすすめています。

ボランティア交流会が 開催されました!



体験コーナー

けん玉・折り紙・
バルーンアート



「笑いは健康と元気の源!」
山形落語愛好協会



もくじ

- 新年のごあいさつ ②
- これが社協の福祉のまちづくり係の仕事です ③
- みんなで考えよう。山形らしい交通のあり方について ④⑤
- 企業の地域貢献活動、寄付者紹介 ⑥
- 山形市災害ボランティアセンターの
運営等に関する協定、市民後見人の活動について、
協働を考える集いの案内 ⑦
- 暮らしの声、プレゼントクイズ ⑧

【ステージ発表団体】

- おちゃめの会
- 千川流 花萌の会
- 新舞踊 寿美弥の会

誰もが安心して暮らせるまちづくり



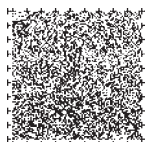
社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

山形市社協「声だより」

FM76.2 ラジオモンスター
毎週日曜午前10時15分～放送中

〒990-0832
山形市城西町二丁目2番22号
TEL. 645-8061 FAX. 645-9236

<https://www.yamagatashishakyo.or.jp>
ホームページ・ブログ更新中



新年のごあいさつ



社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

会長 鞠子 克己

謹んで初春のお慶びを申し上げます。
本年が市民の皆様にとって、健やかで穏やかな年となることを心からお祈りいたします。

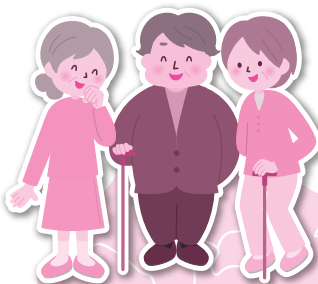
旧年中は、私も山形市社会福祉協議会の事業・活動に、ご理解とご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

今年、は、「ふだんのくらしのしあわせ」という地域福祉の原点に戻って、誰もが「ふくし」を実現できるように、地域の皆様をはじめ、事業者、行政・専門機関と連携し、職員一丸となって務めてまいります。このため、山形市が進める「我が事・丸ごとの地域づくり」を一層推進し、認知症予防や雪かき助け合い、子ども食堂等の地域における自主的な取り組みとの連携強化を図ってまいります。また、市民の皆様の困りごとに寄り添った福祉まるごと相談の継続、福祉の視点から犯罪のないまちづくりとの協働、万が一に備えた災害ボランティアセンター体制の充実、そして権利擁護の強化等について、関係団体の皆様と一緒に取り組んでまいります。

私たちが私たちの住み良い山形市を創る、そのお手伝いをする専門職集団として、市民の皆様の期待に応えられるよう山形市社会福祉協議会職員一同、今年も頑張りますので、よろしく願います。

福祉文化とは…

助けあい、支えあう福祉の心が
人々の生活に溶け込み
根つき、それが文化として
受け継がれていって欲しいという
願いが込められた言葉です。



第四次地域福祉活動計画

ふれあいやまがた
福祉文化のまちづくり

基本目標 わたし・わたしたちがつくる
誰もが安心して暮らせる
福祉のまち・やまがた

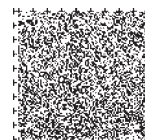


社会福祉協議会とは…

社会福祉法第109条・110条・111条

- 全ての都道府県・市区町村に設置（山形県1カ所、市町村35カ所）
- 地域に暮らす人やボランティア、企業団体、福祉関係者などと一緒に、住み慣れたまちで安心して生活することのできる『福祉のまちづくり』の実現をめざし活動を行っている、民間の社会福祉団体です。

＼ みなさん「しゃきよう」と呼んでください！ ／





ろう体験

- 地区社協会長連絡協議会
- 新任福祉協力員研修会
- 手話ボランティア養成講座開講（～2月まで）▲
- ボランティアスクール傾聴講座開講（～8月まで）
- 福祉教育校指定事業関係者打合せ会



ボランティアスクール色彩心理セミナー

- 地区社協会長連絡協議会
- 福祉学校
- 山形市民総合社会福祉大会



南三陸へ視察

- 地区社協会長連絡協議会
- ▼福祉協力員代表者視察研修



災害ボランティア

- 地区社協会長連絡協議会
- 地域支えあい隊養成講座
- 福祉協力員代表者会議
- 災害ボランティアセンター運営研修

- 地区社協会長連絡協議会
- 協働を考える集い

- 福祉教育校指定事業活動報告会

4月 •地区社協会長連絡協議会 ▼



- 6月 •子育てしやすい地域づくり研修会 ▶
- 福祉協力員代表者会議



- 8月 •中学生、高校生福祉ボランティア体験講座開講
- 山形市戦没者追悼式
- 広報研修会



中高生ボランティア体験

- 10月 •赤い羽根共同募金オープニングセレモニー
- 特技ボランティア養成講座
- 地区社協役員視察研修
- おひさまひろば
- ボランティア交流会



バルーンアート講座

- 12月 •歳末たすけあい活動、配分

- 2月 •地区社協会長・事務担当者・地区民児協会展合同研修会
- 福祉協力員代表者会議



これが社協の福祉のまちづくり係の仕事です!!

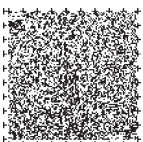
社協が行う仕事のほんの一部ですが、私たちは、このような活動を行っています。

これらの事業は『赤い羽根共同募金』の配分金や山形市地域福祉活動活性化事業の補助金を受けて、事業を行っています。また、年間を通して、子育ておしゃべりサロンや障がい児のサロンの開催、障がい者ふれあいサロン、東日本大震災避難者のためのサロンの開催などを行っています。市内30地区ごとの地区社協主催の総会や研修会・行事、福祉福祉協力員研修会などの企画運営に協力・支援を行い参加しています。

「住民主体」を確認した山形会議から60年

1960(昭和35)年「社会福祉協議会基本要項策定」の核となる「住民主体」の原則をこの山形の地で確認し、全国の社協へこの考え方が広まっていきました。

これが「山形会議」と呼ばれ、社協の福祉活動の原則は「住民主体」と今日まで受け継がれているのです。山形には「お互いさま」の助け合いの精神が昔ながらにいきづいています。全国には、町内会組織が成り立たなくなったり、回覧板や市報での伝達が困難になっているケースもあります。山形市でも、マンションやアパートが増えてきて、近隣の助け合いが心配なところもありますが、まだまだ、「お互いさま」の助け合いが見られます。近隣のあいさつや声かけ、おすそわけなどの習慣は山形の大切な文化として、続けていきたいものです。



みんなで考えよう。

山形らしい交通のあり方

このような様々な交通に関する困りごとから山形で生まれた新たな交通を紹介します。

年を取って車の運転ができなくなったらどうしよう…

タクシー代はちょっと高いなあ

バスの本数も少なくて不便だし…

バスに乗りたけれど乗り方がわからない

誰か買い物に連れて行ってくれないかな？

食材くらい自分で選びたいわ

大郷明治交通サービス運営協議会

地域の自主運営により、交通手段を確保する取り組み。

数年間に及ぶ勉強会を経て、行政・交通事業者を巻き込み、経路や停留所など

も住民が考え2010年から運行しています。利用率にも目を向け、なによりも「使う」ことで10年間守り続けています。



スマイルグリーン号



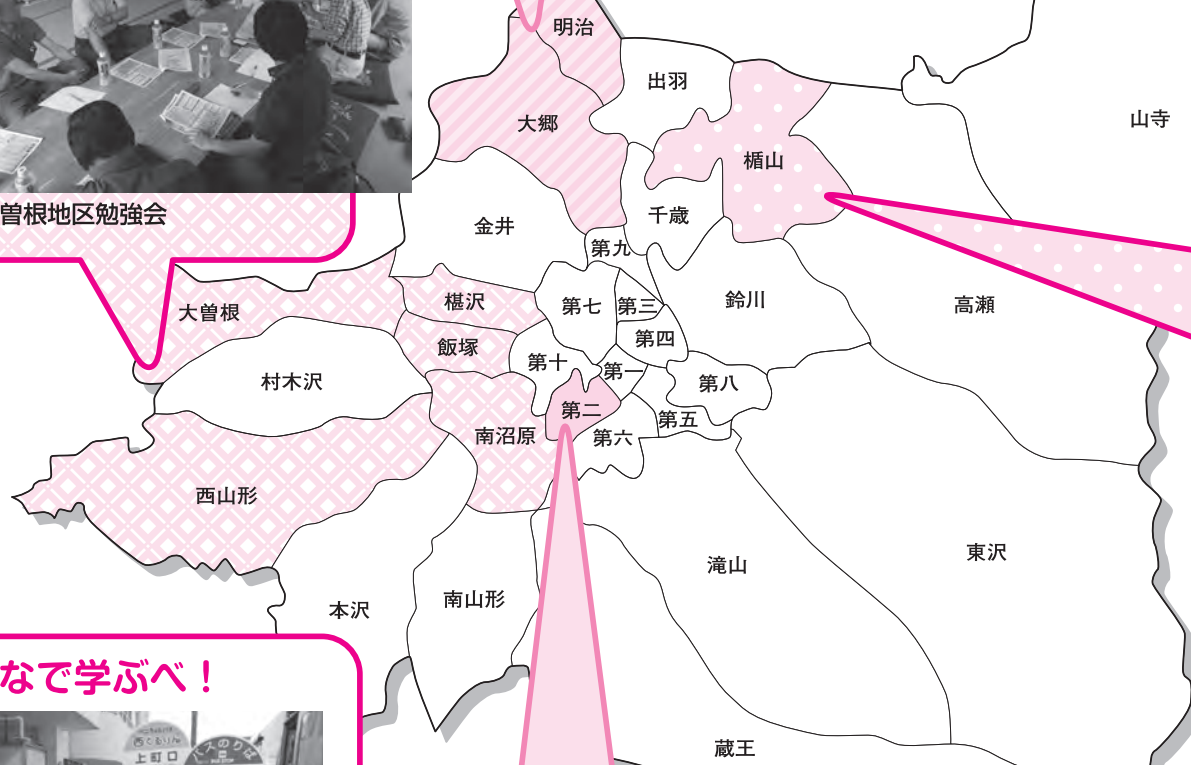
とかみ交通勉強会

交通の困りごとに対する勉強会の開催

自分たちの困っている事について、地域でできることから始めようと考え、住民による勉強会を開始しています。



大曽根地区勉強会



コミュニティセンターに移動販売車がやってきた！

お店までの移動が大変という買い物に対する困りごとから、地域の方が行きやすいコミュニティセンターの駐車場を開放し、買い物の場ができました。



榎山移動販売

バスの乗り方をみんなで学ぶべ！

運転が大変になっても、急に免許を返すのは不安！だから、元気なうちから公共交通に慣れておこう！という取り組みです！



富の中バスの乗り方講座



飯塚バスの乗り方講座

かすみサロン みんなのひろばを送迎付きで開催しています

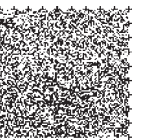
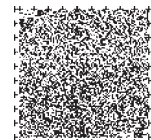
地域住民のためのサロン会場として開放している、ユトリアケアセンターかすみ。歩いて会場まで来られない方でも、参加しやすいよう、施設職員が送迎してくれています。近隣のスーパーで買い物もできますよ。



第二地区

福祉施設の協力による買い物支援バスの運行

実施地区	協力施設	実施地区	協力施設
出羽地区	漆山デイサービスセンター 特別養護老人ホームせん寿ノ杜	蔵王地区	特別養護老人ホーム蔵王やすらぎの里
千歳地区	特別養護老人ホームながまち荘	南山形地区	特別養護老人ホームみはらしの丘
高瀬地区	特別養護老人ホームべにはなノ杜	本沢地区	特別養護老人ホーム菅沢荘 介護老人保健施設サニーヒル菅沢
東沢地区	特別養護老人ホーム愛日荘	南沼原地区	特別養護老人ホームみこころの園
滝山地区	ツクイ山形東青田	榎山地区	



企業の地域貢献活動

「企業も大事な地域福祉の力です」

地域福祉活動を進めるため、赤い羽根共同募金活動として地域や学校の他、企業の皆様にご協力をいただいています。また、本会の善意銀行に労力預託し社会貢献されている企業や団体もあります。「自分たちも何か地域のためにボランティアがしたい！」と相談をいただく事も増えています。そこで今号では、企業の社会貢献活動の参考にしていただくよう、活動事例をご紹介します。

介護施設へ車いす寄贈

●株クリーンシステム

(鈴木 隆社長)

●株クリーンシステム協力会

(佐藤 啓会長・サーックス社長)

産業廃棄物中間処理業のクリーンシステムの社員と約50社が加盟する協力会は、平成21年からエコキャップやプルタブの回収運動を実施しています。身近な地域で利用して頂けたらという思いで、平成29年には飯塚なごみの里（阿部啓一施設長）、令和元年にはみこころの園（野口瑞穂施設長）に車いすを寄贈されました。

車いすはご利用者様にとって大切な足となります。その方たちの生活に潤いが広がることを望み、今後継続し実施されます。



みこころの園での車いす贈呈式

児童遊園の樹木剪定

●日本造園建設業協会山形県支部

例年、善意銀行の労力預託へご協力いただき、市内の児童遊園の樹木剪定活動を実施しています。児童遊園内は、たくさん樹木があります。子ども達が安全にのびのびと遊ぶことができるよう、市内の造園業者さんが集まり作業を行いました。立ち会ってくれた地元町内会の方からも「すっきりして見違えるようだ！お願いして良かったー」と喜びの声が聞かれました。



公園内の樹木を剪定中

他にも…

建設業者さんによる除雪活動や鮮魚店による子ども食堂への食材提供など様々な活動が行われています。地域貢献活動をしたいけれども、どうしたらよいかわからない。どこへ相談をしたらよいの？などお困りの方は、お気軽にボランティアセンターまでお問い合わせください。

お問合せ TEL 645-9233

やさしい気持ちを
ありがとう

寄付者紹介

みなさんからのご厚志に対して、心より厚く御礼申し上げます。ご寄付につきまして、令和元年9月1日から令和元年11月30日までの分を掲載いたします。

(敬称略・順不同)

山形市社会福祉基金

山形市立商業高等学校生徒会

(有)ハーバーコーポレーション

めん蔵 + GOMAZO

亞真屋 山形駅前店

亞真屋 山形本店

株クリーンシステム

株クリーンシステム協力会

日本造園建設業協会

山形県支部

スーパードラマ劇場 上山店

スーパードラマ劇場 山形店

株式会社ニラク吉原店

二戸 淳子

菅原日佐子

平泉 芳美

服部 文信

尾形 一

匿名

山形市善意銀行

現金預託

森 幸一

田中写真館

●物資・労力

株株式会社メガネの相沢

エスバル山形店

株式会社萬屋薬局

会費

個人	三,〇〇〇円以上
団体	一〇,〇〇〇円以上
法人	一〇,〇〇〇円以上

ご協力下さる方へ

恐れ入りますが、次の連絡先までご連絡ください。必要な手続きをお伝えします。

TEL 645-9230 FAX 645-8015

山形市災害ボランティアセンターの 運営等に関する協定」を締結しました。



これからよろしく
お願いします



11月14日（木）公益社団法人山形青年会議所（手塚孝樹理事長）と山形市社協は、災害時におけるボランティア活動等の充実した連携を図ることを目的とし、締結式を執り行いました。

今後、山形市で災害が起き、災害ボランティアセンターが開設される際には、支援活動に係るひと・もの・情報の共有などの連携・協力を図ること、日頃から災害に備えた合同研修会や訓練等を共に行っていきます。

や福祉の専門家がその役割を担ってきました。そのような中、山形市成年後見センターでは、地域に権利擁護の担い手を育成することを目的に平成28年度から『市民後見人（親族以外の市民による後見人）』を養成しています。

山形市では平成29年に県内初の市民後見人が誕生し、現在では6名の方が活躍されています。市民後見人は支援が必要な方と同じ地域に住み、寄り添いながら、日常的な見守りやきめ細やかな支援ができる存在として、これからの活躍がおいに期待されています。



私たちが市民後見人です!!

何らかの理由により判断能力が低下した場合に、その方をサポートする人を家庭裁判所から選んでもらう「成年後見制度」。これまで、後見人は、親族のほか、法律

寄り添い支える
『市民後見人』活躍中!!

協働を考える集い

目に見えない障がいと共に生きる

知的障がいや発達障がいのある方たちへの理解を深めるために

障がいがあっても住み慣れた地域で自分らしい生活を送る為には、日々の暮らしの中で、障がいのある方やそのご家族、地域福祉関係者、公的サービスを提供する事業所等で、お互いをよく理解することが大切です。

この集いは、相互の理解を図りながら、協力し合うにはどのような支援や活動を進めたらよいかを考える事を目的に開催します。

日時 令和2年1月27日（月）
午後1時30分～午後3時30分（受付は午後1時より）

会場 山形市総合福祉センター
2階交流ホール（山形市城西町2丁目2-22）

内容 知的障がい者理解啓発隊「花笠ほーぷ隊」の活動紹介
知的障がい、発達障がい疑似体験、意見交換など

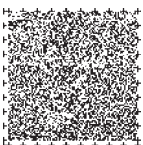
参加費 無料

どなたでも参加できます。

誰もが住んでいてよかったと思える山形になるよう、多くの方々のご参加をお待ちしております。

お問合せ 申し込み先

山形市社会福祉協議会 福祉のまちづくり第一係
TEL 645-8061





市民の皆様からいただいた声を、ひとつひとつ大切に。

暮らしの声

しゃきょうだより

1月

／ たくさん「暮らしの声」をいただきました！
その一部をご紹介します！

お互い様だなあと感じたできごと

- 近所の方から、新鮮な野菜を頂きます。その野菜で夕食を作りおすそ分けをしています。(50代女性)
- パーベキューに行き、着火剤を忘れ困っていた時、隣の知らない人からもらい、礼を言った所『お互い様ですから』と言われて嬉しかった。(70代男性)
- 子どもが1〜2歳の頃、色々な方の手を借り、外出先で助けもらった事があります。私も子どもを連れていて大変そうな人がいたら、人見知りだけれど勇気を出して声をかけようと思つて生活をしています。(30代女性)
- ゆずり合ひの気持ちがあるところ。(80代女性)
- 年老いた母の面倒を見ているつもりが、支えられているのは自分だなぁと感じる時。(50代女性)
- 町内の側溝の草、土砂を力強い男性陣がボランティア袋に満載。いつも頼もしくありがたかった。感謝しています。(60代女性)
- パパにいつも足がくねると言いつつ、くねるが、ほくも足がくねるからお互い様じゃ。(60歳男の子)

ちがうところはどこ？

上と下の絵で10つのちがうところをさがしてね！



ちがうところはどこ？ 10月号 (vol.162) 答え

- ① 愛ちゃんのリボンの模様
- ② 赤ちゃんの髪の毛
- ③ 左のお姉さんの口
- ④ 黒猫のしっぽ
- ⑤ お婆ちゃんの左側にある花

クイズを答えて Present プレゼント！

山形市総合福祉センター
「かすみが温泉」
利用券(4名分)
抽選で20名様

○に当てはまる文字を入れてください。

ヒントはP7をよくみてね

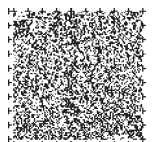
クイズ：親族以外の市民による後見人は
「○○○○○」

- 応募方法／ハガキにクイズの答えと必要事項を記入し、「福祉のまちづくり第一係」までお送りください。当選は発表をもってかえさせていただきます。
- 宛先／〒990-0832 山形市城西町二丁目2-22 社会福祉法人 山形市社会福祉協議会 「福祉のまちづくり第一係」あて
- 締切／令和2年1月31日(金) (当日消印有効)

- ① クイズの答え
- ② 住所
- ③ 氏名
- ④ 年齢
- ⑤ 電話番号
- ⑥ 暮らしの声
「地域の中で今年チャレンジしてみたいこと」
- ⑦ 「しゃきょうだより」の感想



10月号 (Vol.162) クイズの答え
『赤い羽根』



音声コード



愛ちゃんと希望くん。